

今号のTOPICS

- 「第12回自動認識総合展・大阪」盛況のうちに終了
- 「第12回自動認識総合展・大阪」出展社ブースのご紹介
- 「第17回自動認識システム大賞」募集のご案内
- 「第17回自動認識総合展」出展のご案内
- 「自動認識技術者資格認定登録制度のご紹介
- 事務局日より

— 「第12回自動認識総合展・大阪」盛況のうちに終了 —

当協会では、自動認識システム等に関する普及啓発を目的として、東京と大阪で「自動認識総合展」を開催している。大阪で第12回開催となる今回は、29社・団体、46小間の出展があり、盛況の中、出展社各社の新製品や各種ソリューションシステムが多数展示され来場者様との商談が活発に行われた。



主催者の挨拶：代表理事会長 柵木充彦



ご来賓の挨拶：経済産業省 次長 玉野直毅様

■ 29社・団体の出展、盛況の開幕

去る2月19日、第12回自動認識総合展・大阪が幕を開けた。開催初日は、午前9時45分より展示会場であるマードームおおさか1階展示場受付前で開会式を開催、ご来賓の方々や出展社の方々が集まった。

はじめに、当協会の柵木会長が主催者を代表して登壇し、挨拶を述べた。次に、ご臨席を賜ったご来賓の方々を代表して、経済産業省 近畿経済産業局 産業部次長の玉野直毅様にご祝辞を賜った。

開会式の終了後、午前10時に開場。朝早くから、大勢の方々にご来場をいただいた。ご来賓の方々も、展示会場を一巡し見学された。

■ JAISAセッション・事例セミナー

開催初日の10時20分から、マイドームおおさか8階会議室で、JAISAセッションの統計調査報告とチュートリアルセッション（自動認識の基礎講座）のセミナーから講演がスタートし、午後からの事例セミナーでは、「アパレル、農業でのRFID活用」、今回からの取組となる自動認識システム大賞受賞者による「最新技術とRFID活用」をテーマとすること講演があった。

開催2日の「BT Spice」セミナーでは、前日のセミナーに加え、「自動認識技術で医療現場改善を」、「画像認識技術の活用」、「RFID、これからの医療現場活用」、「大手宅配企業の新しい取り組み」をテーマとした講演が



あった。2日間で、合計8セッション15講演を実施、聴講者の皆様は他では聴けない貴重な事例セミナーに、真剣に耳を傾けていた。

JAISAセッション・事例セミナーともに、盛況であった。

第12回自動認識総合展・大阪

マイドーム大阪1階展示会場では、29社・団体、合計46小間（昨年31社・団体、51小間）、昨年より、出展社数の微減があったものの、出展各社の出展内容は数多くの新製品・新技術を用いた、最適なソリューション展示がされた。今回の展示会テーマは「あ！こんなところにも豊かな社会を支える“自動認識テクノロジー”」とした。

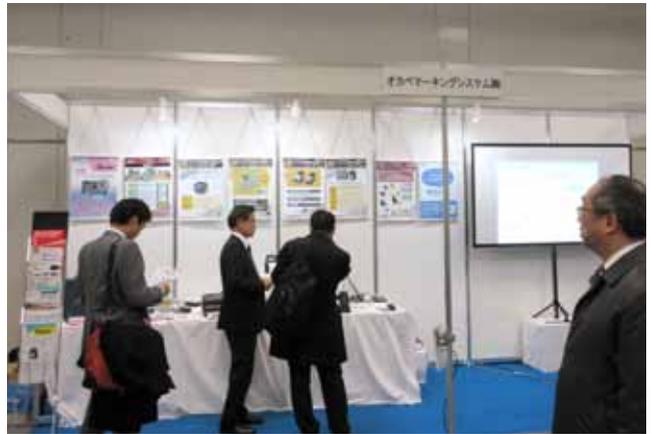
今回からの取組として、出展社の協力を得て、事前受付システムを導入した。このシステムは、自動認識総合展ならではの、プリンタ・リーダー・ソフトを用いたシステムである。来場者は事前登録頂く事により、来場者氏名と企業名の情報が二次元コード内に格納され、受付で二次元コードをスキャンする事により、プリンタから来場者カードが発行される。本システム導入により、来場者様にはスムーズな会場への入場と出展社様には、来場データフィードバックのスピードアップを実現出来た。更に改良を進め、次回開催の東京展においても導入の予定である。

今回の来場者数は、初日が1,533名、2日目が1,549名。会期中の総来場者数は、3,082名であった。

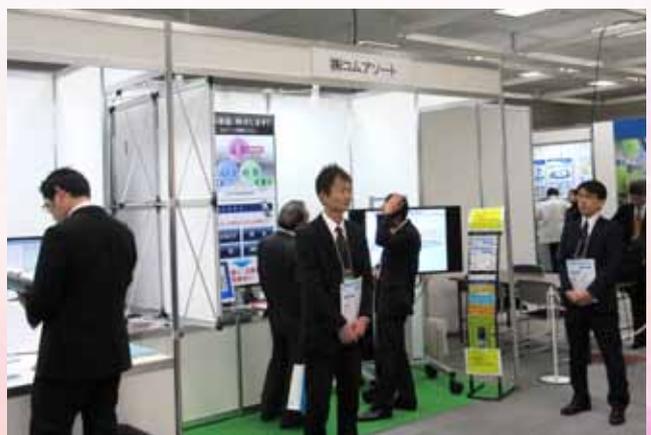
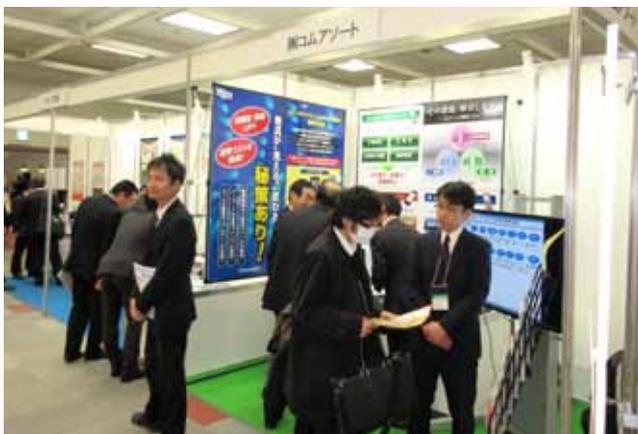
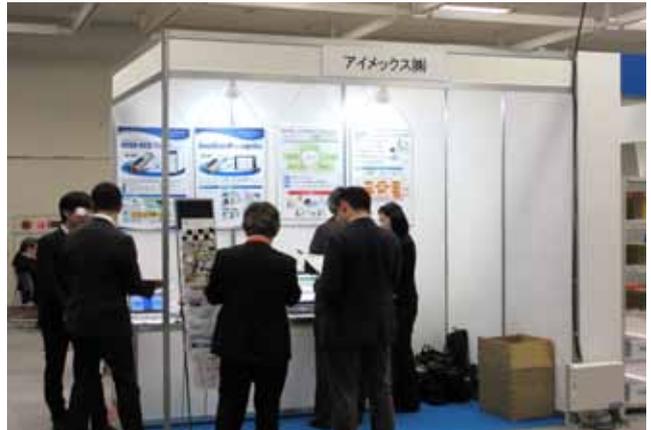


開催規模	29社・団体
来場者数	3,082名
セミナー参加数	417名

■ 出展社ブースのご紹介



■ 出展社ブースのご紹介



「第17回自動認識システム大賞」募集中

当協会では、「第17回自動認識システム大賞」の募集を開始した。この制度は、先進的かつその効果が極めて顕著な優れた自動認識関連の技術やシステムを表彰するものある。応募要領は下記の通り。

自動認識システム大賞 応募要領

■賞の種類

大賞	1点(賞状、賞金30万円)
優秀賞	2点(賞状、賞金10万円)
特別賞*	1点(賞状、副賞)
フジサンケイビジネスアイ賞	1点(賞状、副賞)

※この賞は、自動認識システム大賞応募書類作成要領の7項(申請の詳細)にて、秀でた項目があれば対象に致します。

■募集対象

自動認識に関するシステム、あるいは技術で国内にて実用に供しているもの、または実用の目途が立っているものを対象とし、日本国内の企業、団体、個人を募集対象と致します。

■応募条件

受賞後は当協会が設定したセミナー等で、プレゼンテーションをして頂く事と、当協会が出版、寄稿等に使用させて頂く事を条件と致します。

■スケジュール

応募締切：2015年5月29日(金)

審査：予選審査及び表彰審査を行います。予選審査で優良作品(8~10点を予定)に、選定された場合は、表彰審査委員会において応募者によるプレゼンテーションをお願い致します。(※但し、旅費、交通費は自己負担)*詳細は、予選審査会終了後に、対象者にご案内致します。

結果発表：2015年7月31日(金)(予定)に結果を発表し、広く内外に広報致します。

表彰：2015年9月16日(水)「第17回自動認識総合展」レセプション会場にて行います。

作品の発表：2015年9月16日(水)「第17回自動認識総合展」会場内にて、受賞者によるプレゼンテーションを行って頂きます。また、受賞作品の内容はパネル化して、会場内JAISAコーナーに展示致します。

■応募方法

指定フォーマットに沿って申込書を作成し、容量が5MB以下の場合には下記へE-Mailで、それ以上はCD-Rで送付下さい。

送付先：〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7階(一社)日本自動認識システム協会 システム大賞 事務局 担当宛 E-Mailでの作品送り先及びお問合せ：system-award2015@jaisa.or.jp

■自動認識システム大賞応募書類作成要領

以下の1~9までの項目について記述して下さい。なお、指定フォーマットはホームページに掲載しています。

- 技術分野**：以下の項目で該当するすべてを記述して下さい。(複数回答可) バーコード(一次元シンボル)、二次元シンボル、RFID(RFタグ)、ICカード、NFC、磁気カード、OCR、バイオメトリクス(指紋・顔貌・静脈・音声・虹彩・掌形の認証)、その他
 - 申請テーマ**：内容を的確かつ具体的に表現し、簡潔で分かりやすい名称を30文字以内で記述して下さい。
 - 申請会社名・団体名**：記入項目は、会社名・団体名、担当者名、所属名、役職名、電話番号、Fax番号、E-mailです。
 - 共同申請会社・団体**：共同申請会社・団体がある場合は記入欄に共同申請会社・団体名を記入して下さい。※表彰式における表彰対象は、応募作品1点につき、最大3社・団体までと致します。
 - ユーザー名・団体名**：記入項目は、会社名・団体名、担当者名、所属名、役職名、電話番号、Fax番号、E-mailです。※公開して良い場合のみ記入、非公開の場合は会社名の欄に、業界名を記入して下さい。
 - 概要**：申請した技術やシステムについて、その概要を150字程度で記述して下さい。
 - 申請内容の詳細**：申請した技術やシステムに関し、以下の項目について強調したい事項を中心に記述して下さい。
 - 新規性**：技術的新規性、市場的新規性、企画的新規性等。
 - 導入効果**：経済的導入効果、品質的導入効果(定量的に)、利便性等。
 - 社会的価値**：公共性、環境性、その他(特筆すべき社会貢献度)
 - その他**：導入した実績(定量的に)。実績がまだ無い場合は、推定実績でも可。
 - 機器、システム構成**：申請した技術やシステムについての写真、図等を使用して記述して下さい。(別紙可)
 - 補足資料**：申請した技術やシステムの優位性を説明する補足資料があれば提出して下さい。
- <ご参考>
過去の受賞作品は、HPに掲載しております。当協会のHP(www.jaisa.jp/award/history.html)から、ご覧下さい。

問い合わせ先 (一社)日本自動認識システム協会 TEL:03-5825-6651 URL:<http://www.jaisa.or.jp>

AUTOID & COMMUNICATION EXPO 2015

第17回 自動認識総合展

出展社を
募集中!
締め切り
5月22日(金)

当協会では、2015年9月16日(水)～18日(金)に開催する、「自動認識総合展」の出展社を募集しております。

本展示会は、ユーザーの皆様が抱える諸課題に、新製品・新技術を用い、最適なソリューションを提供する事を最大の目的としております。前回の来場者数は、25,671名。国内外から来場を頂いております。

出展社アンケートでは、出展社小間への訪問社数と商談に結びつく訪問者数ともに、期待した以上の回答が、昨年比52%～75% UPの傾向にあります。是非とも「自動認識総合展」にて、貴社製品のPRをご検討下さい。皆様のご出展を心よりお待ちしております。



と き : 2015年9月16日(水)～18日(金)
と ころ : 東京ビッグサイト西2展示場
主 催 : 一般社団法人 日本自動認識システム協会
後 援 : 総務省・外務省・経済産業省(予定)
特別協力 : フジサンケイ ビジネスアイ
協 賛 : 一般財団法人 流通システム開発センターほか

今年の特徴

- POINT 1** **New!** モバイル端末やウェアラブル機器を集めた新しいゾーンが誕生!
モバイル&ウェアラブルゾーン
- POINT 2** 先進の自動認識技術を集めたゾーンを今年も設置!
画像認識ゾーン センサネットワークゾーン
- POINT 3** 「事例でわかる自動認識」
出展企業による「ユーザ導入事例」だけでなく「ユーザ業界向けソリューション」のパネルも展示可能に!
- POINT 4** **New!** IEEE RFID-TA 2015との併催!
第6回目の国際会議、日本で初開催!!
- POINT 5** 低価格・小サイズ小間『Bタイプ』
一定装飾も付帯。お得です!

出展対象

自動認識製品・技術

各種プリンタ：バーコード・二次元シンボル、RFID、カード、ラベル、モバイルなど
各種リーダー：バーコード・二次元シンボル、RFID、カード、複合、ハンディ・モバイル、ウェアラブルなど
各種媒体：サブライ、ラベル、RFIDタグ、インレイ、NFC、各種カード、Zigbeeなど
バイオメトリクス認証機器：静脈、指紋、顔、掌形、音声など
マシンビジョン、画像認識、OCRシステム

自動認識を活用した各種ソリューション

製造支援システム、流通・物流システム、小売・卸業支援システム、トレーサビリティ、SCM、イベント・アミューズメント支援システム、CRM、セキュリティシステム、医療・教育・図書館・運輸(鉄道、航空、港湾他)・金融・災害対策等の公共支援システム他

自動認識を活用するための技術・製品

ミドルウェア・プラットフォーム、スマートフォンアプリ、M2M、センサネットワーク、クラウドコンピューティング、その他

出展料(消費税8%込)

Aタイプ(従来規格) 小間規格: 1小間[間口3.0m×奥行3.0m×高さ2.7m]

区分	小間数	JAISA 会員	非会員
出展料金 (1小間単価)	1～2小間	421,200円	475,200円
	3～7小間	378,000円	432,000円
	8～12小間	334,800円	388,800円
	13～15小間	324,000円	378,000円
	16～24小間	313,200円	367,200円
	25小間以上	291,600円	345,600円

出展料に含まれるもの: 間口3.0m×奥行3.0mの展示スペース、間仕切り(後壁・側壁、独立小間はスペースのみ)

Bタイプ(低価格、小サイズ小間) 小間規格: 1小間[間口2.0m×奥行2.0m×高さ2.7m]

区分	小間数	JAISA 会員	非会員
出展料金 (1小間単価)	1～2小間 (最大2小間まで可能)	226,800円	259,200円

出展料に含まれるもの: 間口2.0m×奥行2.0mの展示スペース、間仕切り(後壁、側壁1m)、社名板、カーペット、展示台: 横幅1.0m×奥行1.0m×高さ0.8m、スポットライト: 22W×1、コンセント(アース付100V): 2個口×1、500Wまでの電気幹線工事費・電気使用料

出展申込締切

2015年5月22日(金)

問い合わせ先

展示会事務局 (株)シー・エヌ・ティ
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F
TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909
E-mail. info@autoid-expo.com

詳しくは www.autoid-expo.com/tokyo/

自動認識技術者資格認定登録制度のご紹介

～社会インフラとして様々な分野で活躍し、今後も更なる発展が期待されている「自動認識技術」の資格試験～

目的

自動認識技術やシステム導入・改善等の技術的ニーズに的確かつ迅速な対処ができるよう、エンジニアリング業務・システム業務に従事する自動認識技術者の育成・増加のため、当協会が資格認定登録を行うものです。

資格のグレードと対象者

■基本技術者資格

新入社員、中堅社員、学生等、自動認識技術に関する基本的な知識の習得を目指す方。

■専門技術者資格(RFID専門技術者資格/バーコード専門技術者資格)

自動認識基本技術者として当協会に認定登録されており、より専門的な知識の習得を目指す方。

●お問い合わせ●

一般社団法人 日本自動認識システム協会 資格試験事務局：仲田卓朗
 電話：03-5825-6651
 E-mail：license@jaisa.or.jp

資格取得者の認証

資格取得者を証明するものとして、当協会が登録証(カード)および登録証書(賞状)を発行し、希望者は当協会 Web サイトで氏名を公表しております。

名刺に資格名と資格番号を表記し、自動認識技術者であることをPR するなどの活用方法もございます。

自動認識技術者資格認定試験の実施

■基本技術者資格(第25回・第26回)

2日間の講習及び試験(受験のみ可)

第25回実施日：2015年 7月17、18日[募集期間：6月18日～7月9日]

第26回実施日：2015年10月16、17日[募集期間：9月11日～10月7日]

■RFID専門技術者資格(第10回)

3日間の講習及び試験

実施日：2015年11月26～28日(講習)、

2015年12月5日(試験)

[募集期間：10月27日～11月17日]

■バーコード専門技術者資格の本年度開催予定は無し

協会スケジュールのご案内

第17回自動認識システム大賞	募集期間：2015年3月初旬～	2015年5月29日
第5期総会・懇親会	2015年 5月27日	場所：東京プリンスホテル
基本技術者資格講習・試験	2015年 7月17日、18日	場所：早稲田大学理工学部
第17回自動認識総合展	2015年 9月16日～18日	場所：東京ビッグサイト 西2ホール
基本技術者資格講習・試験	2015年10月16日、17日	場所：早稲田大学理工学部
RFID専門技術者資格講習	2015年11月26日～28日	場所：JAISA 会議室
RFID専門技術者資格試験	2015年12月 5日	場所：JAISA 会議室

事務局 だより

吹く風の中に暖かな春の息吹が感じられる季節となりました。今年の冬は例年になく冷え込みましたので、なおのこと一日も早く暖かくなる日を心待ちにしていたので

はないでしょうか。

年度末、年度初めのあわただしい時期ではありますが、春を探しに出かけてみてはいかがでしょうか。

さて、事務局では、本誌面冒頭でご紹介しました「第12回自動認識総合展・大阪」を盛況のうちに終



え、4月初旬発刊の自動認識市場規模調査報告書の作成、自動認識システム大賞の募集開始、第17回自動認識総合展の出展社募集開始。研究開発センターでは、今年度の受託事業の最終的な取り纏めと、来年度の受託事業の取組がスタートしております。

事務局・研究開発センターが携わる各事業は、会員の皆様のご支援とご協力を戴かなければ成り立ちません。職員一同、会員様の満足度を高めるべく各事業活動を推進して参ります。

今後も当協会事業活動に、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

(事務局：佐藤経一)